opusdei.org

属人区長のメッセー ジ(2017年8月15日)

聖母マリアの被昇天において、フェルナンド・オカリス 師のメッセージ

2017/08/15

ご存知のように、スペイン・ポルトガル・フランスを通り、そして今、ドイツ・オランダ・ベルギーで過ごすこの数週間、多くのオプス・デイの人々、その家族、協力者と友人たちと出会う機会がありました。その

人たちの喜びと苦しみ、そして何よりも多くの人たちにキリストの愛をもたらしたいという望みを共有しながら、聖ホセマリアの心の中からほとばしり出た神への感謝のあの言葉を思い出していました。「オプスしてしまう。」

きっと、皆さんにも同じことが起こ るでしょう。たとえ、時には毎日の 困難や問題ゆえに、

私たちが直接か かわっている仕事のさらに向こうを 見るのが難しくなりえるとしても。 私たちの手の中にある事柄を通し て、いつも心の目を神様に向けるよ う私たちを助けてくださるように、 また、私たちにとって教会を大切に する第一の方法として、オプス・デ イを大切にするように、被昇天の祝 日にあたって、聖マリアに祈りま す。オプス・デイとは、建物や活動 の集合体ではありません。それ以上 のものです。すなわち、一つの家族 であり、自分たちの中に閉じこもる 家族ではなく、すべての人の物質的 霊的必要に自身を開いて周囲をも家 族としていくのです。家族にとって 大切なのは、一人ひとりです。で から、私たちの祈りと、寄り添い と、理解と、朗らかさをもって、 人ひとりを大切にしましょう。

フェルナンド

ゾーリンゲン、2017年8月15日

PDF式ダウンロード

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkucho-messeji-2017-8/(2025/11/20)